

季刊 民族学

[目次]

- 003 | **特集 |**
民藝
— 人とモノとが会うとき
- 004 特別対談
「民」へのまなざし
— 民藝と民俗学と民族学
吉田 憲司／濱田 琢司
- 018 民藝にとっての地方と
地方文化としての民藝
濱田 琢司
- 028 民藝の「発見」と朝鮮民族美術館
鄭 銀珍
- 034 民具と民藝の100年
加藤 幸治
- 042 日本民藝美術館と
浜松の民藝運動
増井 敦子
- 046 民藝運動と女性たち
小野 絢子
- 052 バーナード・リーチと民藝運動
— 生活造形による心の環境保護
鈴木 禎宏
- 056 芹沢銈介の収集
— 集めてつくったもうひとつの世界
白鳥 誠一郎
- 062 いまなぜ民藝か
鞍田 崇
- 070 砂漠でわらを編む
— オーストラリア先住民の手工芸品
平野 智佳子
- 078 日本と韓国における
産後ケアの現在地
松岡 悦子、諸 昭喜
- 086 フィールドワーカーの布語り、モノがたり 第1回
バリ島の紋織と緋
— 消費される手仕事の存在価値
中谷 文美
- 094 シリーズ | 焼畑を再考する③
佐々木高明を語る
— 研究とその人物像
池谷 和信／宇野 文男／クライナー・ヨーゼフ
- 102 シリーズ「焼畑を再考する」特別インタビュー
移りゆく森の姿
五木村村長・木下丈二さん
聞き手：池谷 和信
- 表紙 「変わらない」なかの新しさ
写真・文＝濱田 琢司
- 写真提供・協力
坂本創、倉敷本染手織研究所、須浪隆貴、日本民藝館、株式会社濱田窯、
濱田庄司記念益子参考館、浜松市美術館、浜松市博物館、神奈川大学日
本常民文化研究所、アサヒビール大山崎山荘美術館、静岡市立芹沢銈介
美術館、芹澤恵子、森山雅夫、三宅康太、池田晋太郎、大分合同新聞社、
豊田市民芸館、松本市美術館、三代澤保水、遠近 をちこち、大阪市立東
洋陶磁美術館、浅川伯教・巧兄弟資料館、六田知弘、韓国国立中央博物館、
武蔵野美術大学民俗資料室、東京国立近代美術館、木奥恵三、上田市立
美術館、21_21 DESIGN SIGHT、良品計画、寿龍院、国立科学博物館、
長崎歴史文化博物館、倉敷民藝館、山本尚意、一般社団法人 日本美術著
作権協会、リーガロイヤルホテル、木村幸央、NPY女性評議会、ぶどうの木、
キム・ソウォン、イム・ヒョンソク、DIOR、吉本忍
- 本文中、撮影者・提供者を記載していない写真は執筆者の撮影・提供に
よるものです。